

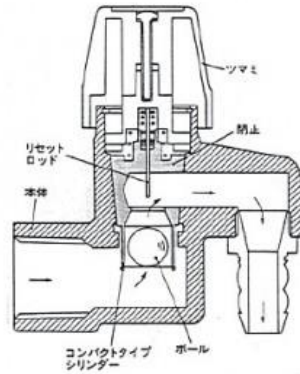
◆◇ 使用前の注意 ◇◆

- ・器具に表示してあるガス以外のものでは絶対に使用しないでください。
- ・LPガスを使用の場合は、必ず低圧ガバナーをご利用ください。
(ガバナとは「整圧器」ともいいます。ガスの消費量の増減にあわせてガスの圧力を自動的にコントロールする機能を持っています。ガス屋さんにお問い合わせください。)
- ・中、高圧ガバナーを使用されますと、ガス漏れおよびガス爆発の可能性があります。
- ・ガスホースはホースエンドの赤線の所まで差し込みゴム管止めでしっかりと止めてください。
- ・なおガスホースは出来るだけ最短にしてお使いください。
またガスホースが古くなるとヒビ割れが入り、ガス漏れの恐れがありますので早めにお取り換えください。
- ・設置場所は不燃性の台の上に置き傾かないように注意して置いてください。
- ・また壁より側方、後方とも10センチ以上は離してください。
- ・強い風が吹き込む所の設置はガスが立ち消えになり危険ですので十分注意してください。
- ・お子様の使用は危険ですので絶対にさせないでください。
- ・部屋の換気は十分に行ってください。換気が不十分だと酸素が減少して不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。
- ・ガス器具の移動は必ず元栓を閉めて行ってください。
- ・このガス器具は日本国内専用になりますので国外では使用しないでください。
- ・接続が終わりましたら、ガス漏れがないことを確認してください。

◆◇ 火傷怪我の防止のために ◇◆

- ・使用中及び使用直後は、器具全体が熱くなっていますので必要な所以外は手や体の一部は触れないようにしてください。
- ・器具の梱包は器具が十分に冷えてからしてください。
- ・ガス漏れに気付いた時は、すぐにガスの元栓を閉じ窓や戸を全開にしてガス供給会社に電話してください。
その時電気器具のスイッチの入り切りやたばこの火は絶対に付けないでください。

●ガスに火がつかない場合は？



お客様が用意したプロパンガスボンベには通常上記のようなガスコックが付いていますが、このガスコックの中には図の様な安全装置が付いています。

(過大な流量のガスが流れるとボールが押し上げられてガスを遮断します。ラムネの瓶のビー玉をイメージしてください)

レンタル頂いた弊社のガス機器に火がつかない場合の多くは、お客様に用意して頂いたプロパンガスボンベの安全装置が働き、ガスが遮断されている状態となっている事が考えられます。

この安全装置は一度プロパンガスボンベのガスコックを閉じる事でリセットされます。ガスホースをガス機器につないでコックを開けても火がつかない場合は


1. 弊社からレンタルしたガス機器のガスコックを一度全部閉じる。
2. プロパンガスボンベのガスコックを一度閉じる
3. 閉じたプロパンガスコックのコックを再び開ける
4. 弊社からレンタルした機器のガスコックを開けて火をつける


上記の順番を試してください。

※ ガス機器のコックを開けたままプロパンガスのガスコックを開けると、抵抗無くガスが流れるためにプロパンガスボンベの安全装置が働きガスを遮断する場合があります。

鉄板焼き機の使用法

<p>①</p>		<ul style="list-style-type: none">• バーナーを箱から出して設置します。必ず〈フチ部分〉を持ってください。 <p>① 〈H型バーナー部分〉と、 ② 〈手前のガス管〉は持たないでください。</p>
<p>②</p>		<ul style="list-style-type: none">• 到着時の鉄板はホコリが付かないように、ビニール袋で覆われています。 <p>鉄板には当店の【焦げ付きを抑える離型オイル】が塗ってあります。 気になる方は、ペーパーなどで拭いてお使いください。</p> <p>※水洗いはしないでください。</p>
<p>③</p>		<ul style="list-style-type: none">• バーナー部分に鉄板をセットしてください。 <p>鉄板のフチがないほうが手前になります。</p>
<p>④</p>	 <p>• クリップを留めてご使用ください。</p>	<ul style="list-style-type: none">• ガスホースをつなぎ、ガス台の高さ調節をしてください。  <p>5cm 位までは高さ調節可能です。</p>

⑤		<ul style="list-style-type: none"> バーナー部分下部、引き出しに水を入れてください。 <p>高温になりすぎない為に入れていしますので、切らさないようにご配慮ください。</p>
⑥		<ul style="list-style-type: none"> 元栓のcockと、バーナーcockを開いてください。
⑦	 <p>ガスが充満して爆発の恐れがありますので、長い時間ガスcockを開けっ放しにしないで下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 通風口から点火用ライターを差し込んで、点火してください。 <p>最初はガスホースの空気と混じって点火しにくい場合があります。</p> <p>つきにくい場合は、一旦ガスcockを閉めてから、同じ作業を繰り返しておこなってください。</p>
⑧		<ul style="list-style-type: none"> 通風口から、炎の色を確認して下さい。 <p>完全燃焼時 … 青い炎 不完全燃焼時 … 赤い炎</p> <p>火力の調節は、各バーナーcockで調節できます。</p>

⑨	 <p>空気調整器</p>	<ul style="list-style-type: none">• 炎が赤くなり、炎が飛ぶ場合は空気調整器をまわして状態を見ながら調節してください。
⑩	<p>▼ご注意▼</p> <p>調理中、不慮の出来事で火が立ち消え、ガス漏れをおこすことがあります。ガス機器から離れるときは、必ず火を消してください。</p>	

返却時の梱包手順

※鉄板とバーナーが完全に冷めてから梱包してください。

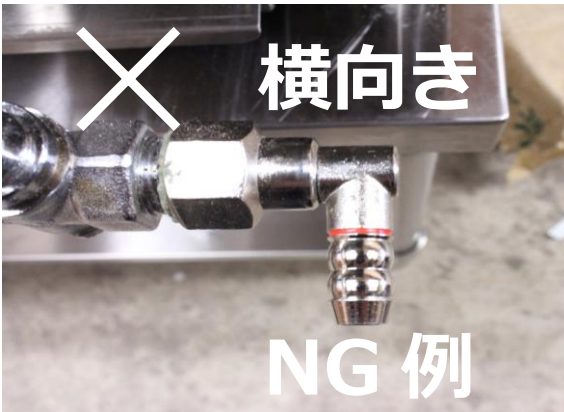
- 梱包は〈バーナー部分〉と〈鉄板〉の2個口になります。
- 梱包する箱の下に、PPバンドを2本引いてからおこなってください。
ケガのないように、2人以上での作業をお願いします。

【バーナー部分の梱包】

①

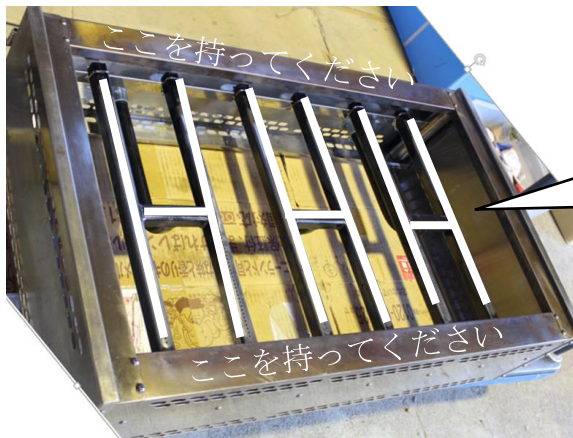


- ガス管のゴムホースをつなぐ部分（接続口）を下に向けてください。



- NG 例
横に向けたまま梱包してしまいまると、輸送中に破損の原因になります。

②



- バーナーのフチ部分を持って、箱にバーナーを入れます。

注意！！

H型バーナー部分を持たないでください。破損の原因になります。

再度、②の〈接続口の向きを〉確認してください。

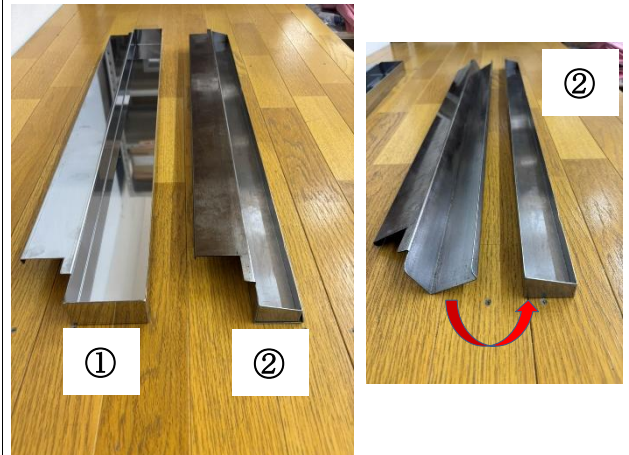
③



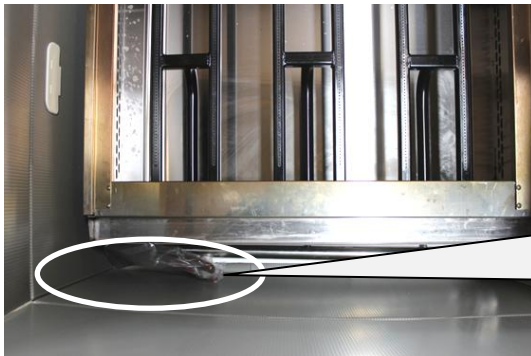
・カス受けの食材を捨てたら、カス受けを元に戻して下さい。

※カス受けは「①一体型 ②取り外し可能型」の2種類ございます
(左の画像は②のタイプです)

「②取り外し可能型」の外したカス受けの入れ忘れがないようご注意ください



④



・返却備品（コテ2個・スクレイパー1個）をビニール袋に入れてから、バーナー側面に入れて下さい。



⑤



・バーナー保護のため、ベニヤに板を上に乗せ、フタを閉じてください。

⑥



- PPバンドをとめてください。

PPバンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時PPバンドの使用方法」にてご確認ください。

【鉄板の梱包】

①		<ul style="list-style-type: none">鉄板の上の残った食材は捨ててください。 <p>液体（油・タレ等）はコテで<u>簡単</u>に取り除いてください。 お掃除は不要です。</p>
②		<ul style="list-style-type: none">鉄板を箱に入れてください。
③		<ul style="list-style-type: none">PPバンドをとめてください。 <p>PPバンドのとめ方は取り扱い説明書最終ページにある「梱包時 PP バンドの使用方法」にてご確認ください。</p>
④		<ul style="list-style-type: none">台車をお持ちのお客様は、こんなふうに台車の上で作業をしていただくと、簡単にPPバンドをすることができます。 <p>ただ、基底面が狭くなる分、不安定になりやすいですので、十分注意して行ってください。</p>

⑤

▼返却用の伝票を指定の位置に貼り付けてください。
返却用伝票は弊社にてご用意させていただきます。
梱包の箱に貼り付けてあります。

お届け時の伝票の下にある赤い伝票が
返却用の伝票です。



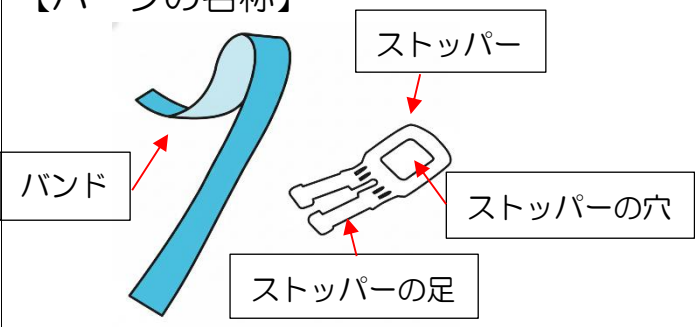
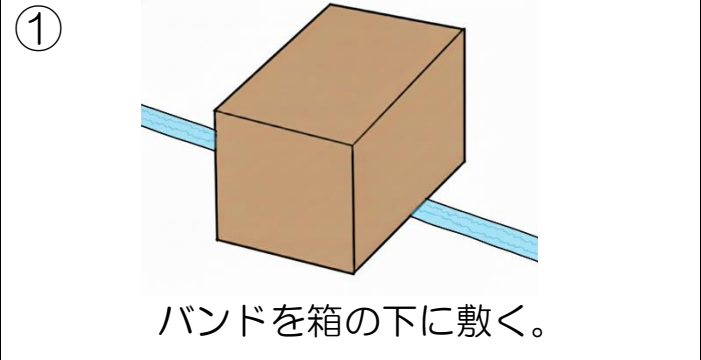


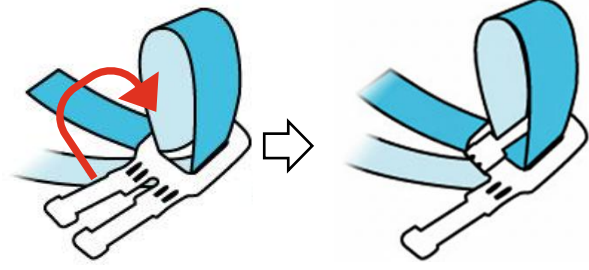



梱包時PPバンドの使用法



下記手順を参考にしても分からない場合は、動画でも確認できます。

QRコードまたはリンクからご視聴ください。

<https://youtu.be/8ZejU--OkI4>

<p>【パーツの名称】</p>  <p>バンド</p> <p>ストッパー</p> <p>ストッパーの穴</p> <p>ストッパーの足</p>	<p>①</p>  <p>バンドを箱の下に敷く。</p>
<p>②</p>  <p>バンドの先端に輪を作る。</p>	<p>③</p>  <p>作った輪をストッパーの穴に通す。</p>
<p>④</p>  <p>ストッパーの足1本をバンドの輪の中に折りたたむ。</p>	<p>⑤</p>  <p>バンドの先端を矢印の方向に引っ張る。</p>
<p>⑥</p>  <p>荷物の下に通した反対側のバンドの先端も同様に（バンドの向きは反対となります）②～⑤の手順を行う。</p>	<p>⑦</p>  <p>バンドを両端に引っ張り、しっかり締める。</p>